

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス オハナ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 24日 ～ 令和7年 4月 11日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内と屋外環境があるため活動の幅が広く様々な取り組みができる。	・職員全体で活動案を出し合うこと。 ・集団活動担当職員を決めて児童の姿に合わせた活動を展開する。	常勤職員だけの考えではなく、非常勤職員や他デイとの連携からアイディアを共有することで、活動の幅を広げていきたい。
2	職員間でのコミュニケーションが円滑で、立場関係なく意見交換ができていて、療育に反映することができている。	常勤・非常勤職員で毎日申し送りを実施して意見交換を欠かさずに行っている。	日々の関りを密にしながら今後も全員が発言しやすい環境を作っていく。
3	子ども一人ひとりの姿を把握し、子ども自身が思考し自己選択をする機会が持てるような環境整備と支援をしている。	子ども一人ひとりに寄り添い、自己決定ができるように活動内容と環境を調整している。	子どもたちが安心して自分の気持ちを表出できる環境と、関係性を今後も継続して作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間でも経験年数等からスキルの差が出てしまう場面がある。	スキルや知識の差から統一した支援のむずかしさがある。	・研修等を通じて知識を増やし意識へと変化できるようにしていく。 ・療育における場面を想定し対応方法の共通認識が持てるようにしていく。
2	保護者会等の設置がないため、保護者間の交流がない。	お仕事や家庭の事情により参加が難しい保護者様が多いこともあり、開催日時の調整等に難しさがある。	保護者様ヘニーズ等の確認をしながら必要に応じて交流会等の開催を考えていきたい。
3	小学校1年生から高校3年生までの子どもたちが活動を行っているため、日常生活レベルの幅が広い。	学年等幅広い子どもたちとの集団活動では個々に見合った内容の活動を提供する場面では難しさがある。	同じ内容の活動であっても個々に応じた目標を設定し、参加方法等を工夫しながら活動を展開していく。